

【目次】

1. 渋沢栄一の手紙（大正4年6月11日）を公開中！
2. 日本労働会館 2018年度第4回理事会を開催、3月26日！
3. 友愛会創立を記念する会第1回幹事会を開催、4月12日！
4. 友愛会館の「つつじを楽しむ会」が開かれました、24日～26日！
5. 連合会館で「100万人のクラシックライブ」と労働映画観賞会、3月27日・4月11日！

1. 渋沢栄一の手紙（大正4年6月11日）を公開中！

2024年度から登場する新紙幣1万円札の表の図柄に渋沢栄一が決まり、いま注目が集まっています。渋沢栄一は数多くの企業を設立し、「日本の資本主義の父」と呼ばれています。渋沢栄一は一方で友愛会・総同盟（現在の連合）の「ゆかりの人」であり、友愛会系労働組合の歴史資料館である当歴史館には、渋沢栄一の肖像画や手紙が常設展示されています。

渋沢栄一と鈴木文治・友愛会の関係は、大正初期に米国で排日問題が起こったことにより始まります。『渋沢栄一伝記資料』（渋沢史料館）の大正4年6月1日の記述に、「是ヨリ先、アメリカ合衆国カリフォルニア州ニ排日問題起ルヤ、シドニー・エル・ギューリック等ノ請ニヨリ、米国労働大会へ代表ヲ派遣センガ為メ、栄一、安部磯雄・添田寿一ト謀リ、当会会長鈴木文治ヲシテ列席セシムベク尽カス。是日当会主催全国労働大会ニ出席シ送別演説ヲナス。爾後当会並ニ鈴木文治ニ対シ絶エズ激励援助ヲ与フ。」とあります。

また、大正4年6月17日には「当会ノ鈴木文治及ビ吉松貞弥ノ兩名、労働代表者トシテ渡米スルニ際シ、是日栄一、之ヲ兜町事務所ニ招キテ送別会ヲ催ス。」とあり、渋沢栄一が鈴木文治と吉松貞弥のために送別会を開いたことが記述されています。



当歴史館が所蔵している渋沢栄一直筆の書簡はこの時期のもので、鈴木文治とともに米国に渡った吉松貞弥宛の送別会案内状の手紙（吉松貞弥遺族の寄贈）です。

2. 日本労働会館 2018年度第4回理事会を開催、3月26日！

一般財団法人・日本労働会館は3月26日（火）午後、2018年度第4回理事会を開催しました。理事会では①友愛労働歴史館事業報告（間宮悠紀雄事務局長）、②労使関係研究協会事業報告（滑川太一事務局長）、③三田会館宿泊事業報告（兼次営業部長）が、それぞれ確認されました。

この後、滑川太一理事による「2018年度決算予測」が、また議案1「2019年度事業計画（案）承認の件」では①「2019年度友愛労働歴史館事業計画」、②「2019年度労使関係研究協会事業計画」、そして③「2019年度宿泊事業計画」がそれぞれ提案され、承認されました。議案2「2019年度予算（案）承認の件」では、滑川理事が「2019年度予算（案）説明」を行い、確認されました。この後、次回会議予定を確認し、理事会は17時頃に閉会いたしました。

3. 友愛会創立を記念する会第1回幹事会を開く、4月12日！



鈴木文治により1912（大正元）年8月1日に創立された友愛会。その友愛会を顕彰する記念式典を毎年8月1日に開催している「友愛会創立を記念する会（高木剛会長）」は、4月12日に2019年第1回幹事会を開きました。幹事会は、①本年8月1日（木）正午から友愛会創立記念式典を開催すること、②これに先立ち友愛会を顕彰する報告会を同日10：30から開催することなどを確認しました。友愛会創立記念式典は8月1日12：00～14：00・友愛会館9階で開催されます。

友愛会を顕彰する報告会は、協調会100年をテーマに友愛労働歴史館・研修室で開催することが確認されました。これは友愛労働歴史館が7月4日より開催する企画展「協調会結成100年—友愛会・総同盟との関係を見詰める—」（2019.7.4～12.24）」と連動させるためです。

4. 友愛会館「つつじを楽しむ会」が開かれました、4月24～26日！



友愛労働歴史館がある友愛会館（旧ユニテリアン教会・惟一館）の屋上にはつつじが植栽されており、毎年、期間限定で開放されています。今年の「つつじを楽しむ会」は、4月24日（水）～26日（金）12：10～13：10で行われました。26日に予定されていた近くの芝小学校三年生の見学会は、雨のため中止となりました。

上の写真は23日に東京タワー展望台から撮影したもので、友愛会館（写真中央やや右下、屋上につつじが植栽されている16階建てのビル）やレインボーブリッジが見えます。下の写真はつつじ咲く友愛会館屋上から東京タワーや芝増上寺を見たものです（雨天のため2018年の写真を利用）。

5. 連合会館で「100万人のクラシックライブ」と労働映画鑑賞会、3月27日・4月11日！

3月27日（水）12：10から連合会館1階ロビーで、「100万人のクラシックライブ」（入場無料・主催は総評会館）が開かれ、当館関係者も参加しました。ヴァイオリンとピアノによるミニコンサートで、昼休みの限られた時間帯の開催でしたが、多くの方が聞き入っていました。同ライブは「普段着で聴けるクラシック。耳ではなく、全身で聴く」（チラシ）ことを目指しています。

NOP法人働く文化ネットの第57回労働映画鑑賞会が4月11日（木）夜、連合会館で開催されました。上映されたのは吉永小百合が主演した「キューポラのある街」で、鋳物の町として知られる埼玉県川口市が舞台。今日の視点から見ると悲惨な結果を招いた北朝鮮帰国事業を賛美しているようにも受け取れますが、一つの時代を反映した映画です。

「人間の尊厳、進歩と発達のために」

発行：友愛労働歴史館

責任者：徳田 孝蔵

担当者：間宮悠紀雄

〒105-0014 港区芝 2-20-12

友愛会館 8F

Tel.050-3473-5325

Eメール yuirodorekishikan@rodokaikan.org HP <http://www.yuirodorekishikan.com>

惟一館から125年、友愛会から107年